

TCS 検査について

1. TCS 検査概要

溶血性貧血関連 68 遺伝子について、網羅的遺伝子解析を実施致します。

[対象とする遺伝子名]

1	ADA	18	EPB42	35	SEC23B	52	CFB
2	ALDOA	19	SLC4A1	36	KIF23	53	THBD
3	AK1	20	SPTA1	37	KLF1	54	CFHR2
4	ENO1	21	SPTB	38	ATP11C	55	CFHR4
5	G6PD	22	ANK1	39	COL4A1	56	CFHR5
6	GPI	23	GYPC	40	GATA1	57	DGKE
7	GPX1	24	EPB41	41	PIGA	58	PLG
8	GSR	25	STOM	42	UGT1A1	59	ULK1
9	GSS	26	RHAG	43	ATP7A	60	BECN1
10	GCLC	27	SLC2A1	44	ATP7B	61	PIK3C3
11	HK1	28	PIEZO1	45	ADAMTS13	62	AMBRA1
12	NT5C3A	29	KCNN4	46	C3	63	PRKAA1
13	PFKM	30	ABCG5	47	CD46	64	ATG9A
14	PGD	31	ABCB6	48	CFH	65	TBC1D5
15	PGK1	32	ABCG8	49	CFI	66	BNIP3L
16	PKLR	33	CDAN1	50	CFHR1	67	BNIP3
17	TPI1	34	C15orf41	51	CFHR3	68	FUNDC1

遺伝子解析で見つかった変異について、必要がある場合は赤血球酵素活性、GSH、赤血球膜関連検査 (eosin5'-maleimide 結合能 : EMA、浸透圧脆弱性試験 : OF) を実施します。

[結果報告]

3-4 カ月を目安に、書面にてご報告致します

[費用]

9 万円 (税別)

2. 予約手順

- ① 免疫学的溶血性貧血(DAT 陰性)および他の病因による貧血が否定されていることをご確認ください
- ② メール (info@anemia-support.org) で患者様の情報をお知らせください
 - 1) 年齢、性別
 - 2) 輸血歴・家族歴
 - 3) 脾腫・胆石の有無
 - 4) 両親の出身国

- 5) ヘモグロビン濃度
- 6) MCV
- 7) 赤血球形態
- ③ 採血日が決まりましたらメールでお知らせください
- ④ 発送後、宅急便の追跡番号をお知らせください
(検体が到着しましたら、メールにて到着のお知らせを致します)

3. 検体の準備と発送

■ 準備するもの

- ① 患者検体：EDTA-2K,または-2Na 2-5mL
- ② 末梢血塗抹標本（ギムザ染色 又は メイギムザ染色）1 枚
- ③ 溶血性貧血検査申込書・請求書：[PDF](#)
- ④ 慢性貧血時の生化学・血算データ（書式なし）
- ⑤ 同意書のコピー-1 部：[PDF](#)
 - 対応する年齢の書式を使用してください
 - 20 歳未満は代諾者の IC も取得してください
- ⑥ 共同研究承諾書：[PDF](#)

■ 発送について

- 月～金曜日に到着するように、宅急便[クール(冷蔵)]で郵送ください
[凍結不可]・[ドライアイス不可]・[封筒不可]・[バイク便不可]です
具体的にはアイスノンなどの保冷剤と共に発泡スチロールの箱に入れてください
採血管が直接保冷剤に触れると凍結する恐れがありますので、間にガーゼやキムタオルなどをお入れください
- 伝票の備考欄に「特殊検査室用」と記載ください
- 採血後、速やかに発送ください
- キャンセルの場合はご一報ください

■ 送付先（発払いをお願い致します）

〒162-8666
東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学病院 西病棟 B 地下 1 階
輸血・細胞プロセッシング部
菅野 仁 宛
電話番号：03-3353-8112 (内)23021

※問い合わせ先と検体送付先が異なりますので、ご注意ください

TCS 以外の検査について（要事前予約）

- DBA 二次調査、ヘモグロビン異常症については従来通り受付ます。メールにてご相談ください
- 男性の G6PD 活性については「酵素 1 種 [4 万円(税別)]」で測定致します。G6PD 遺伝子は X-linked であり XX である女性は、ランダム不活化の影響を受け、活性値のみで保因者を判別することが困難であるため、TCS 検査でお受けいたします。